

2007年1月1日～2017年12月31日の間に 体外受精を行い一卵性双胎を妊娠された方へ

—「体外受精に起因する一絨毛二羊膜性双胎の回避法」へご協力をお願い—

研究責任者 岡山大学 ART センター 准教授 大月純子
研究分担者 岡山大学 ART センター 教授 中塚幹也
岡山大学 ART センター 教授 舟橋弘晃
岡山大学 ART センター 助教 高山修

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

体外受精では一つの胚を移植しても一卵性双胎となることがあります。一卵性双胎は流産や出産時のリスクが高いため、胚の状態から一卵性双胎を推測することが重要です。一卵性双胎となった胚の動画から、胎児になる部分の細胞間の接着がゆるむ現象がわかりました。この発見をもとに、更に多くの一卵性双胎となった胚の解析をすることにより、体外受精における一卵性双胎を回避する方法を生み出すことを目的とします。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

研究成果により一卵性双胎を胚の段階で予測できるようになり、体外受精により頻度が高くなる一卵性双胎を減らすことができる。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2007年1月1日～2017年12月31日の間に研究協力施設で体外受精を行い、一卵性双胎を妊娠された方を研究対象とします。

2) 研究期間

2018年2月1日～2021年3月31日

3) 研究方法

2007年1月1日～2017年12月31日の間に体外受精において一卵性双胎を妊娠された方の体外受精を行った時点での情報（年齢、卵巣刺激方法、血液検査値、胚画像、受精方法、培養方法、胚の情報（胚の静止画像、動画含む））を研究者が解析し、一卵性双胎を回避する方法を生み出します。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、卵巣刺激方法、血液検査値、胚画像、受精方法、培養方法、胚の情報（胚の静止画像、動画含

む)

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 10 年間、岡山大学生殖補助医療技術教育研究センター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、本研究において得られた情報の二次利用は行いません。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示の予定はありません。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2018 年 4 月 30 日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学 生殖補助医療技術教育研究センター

氏名：大月純子

電話：086-251-8327（平日：9 時 00 分～17 時 00 分）

ファックス：086-251-8388

<研究組織>

情報の提供を行う機関は岡山大学生殖補助医療技術教育研究センターHP にて公開いたします。

（掲載ページ） <http://artc.ccsv.okayama-u.ac.jp/>